

感染症発生状況

平成30年10月25日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成30年10月15日（月）～10月19日（金）の定点における発生状況をお知らせします。
定点23園の対象園児数（定員）は2,716名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】430名 【職員】8名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】86名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数72名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状：熱（163名）、咳・鼻水（95名）、下痢・腹痛（42名）、発疹（13名）

疾病別：気管支炎・肺炎（28名）、手足口病（27名）、インフルエンザ（14名）、ヘルパンギーナ（11名）

【職員】症状：頭痛（2名）、熱（1名）、嘔気・嘔吐（1名）、下痢・腹痛（1名）

**夏の感染症（ヘルパンギーナ）と冬の感染症（インフルエンザ）が混在して流行しています。
さらにマイコプラズマ肺炎、手足口病も見られます。**

インフルエンザワクチン接種が始まりました。流行状況、受ける方の健康状況に照らし合わせ、早めに受けましょう。

職員の方々はインフルエンザワクチンを受けましょう。

【症状別の発生状況】

気管支炎・肺炎 河北地域で減少。玉山、厨川、盛南、都南地域で増加しました。

手足口病 河北、盛南、河南、都南地域で増加しました。

インフルエンザ 厨川地域で増加しました。

ヘルパンギーナ 都南地域で減少。厨川、河北地域で増加しました。

【県の状況（10/8～10/14）】

手足口病は増加し、県央地区で警報値（定点あたり患者数5人）を超えました。予防には、患者との濃厚接触やタオルの共用を避け、手洗いや排泄物の適切な処理を行うことが重要です。髄膜炎や脳炎等を併発する場合がありますので、頭痛、嘔吐、高熱が続く場合は、医療機関の受診が勧められます。

RSウイルス感染症は、中部及び奥州地区で多くなっています。患者の咳やくしゃみ、ウイルスが付着した手指などから感染するため、咳エチケットや手洗いによる予防が重要です。

水痘は、盛岡市で警報値（同2人）を超えました。患者の水疱内容物、咳やくしゃみなどの飛沫から感染します。予防には、患者との接触を避けることが重要です。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会
電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】